

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### 梱包明細表

#### ① 両開きセット

名称	員数
ボディ	4
ボディ固定ボルト M10×100六角穴付ボルト	4
カバー	4
埋込金具固定ナット M10	4
ボディ固定ナット M10	4
歯付き座金 M10	4
バネ座金 M10	8
アンカー	4
ヒンジワッシャー	4
取付説明書	1

#### ② 片開きセット

名称	員数
ボディ	2
ボディ固定ボルト M10×100六角穴付ボルト	2
カバー	2
埋込金具固定ナット M10	2
ボディ固定ナット M10	2
歯付き座金 M10	2
バネ座金 M10	4
アンカー	2
片錠受け裏板	1
プラグボルト	2
サラネジ M5×40 D=10	2
サラネジ M5×40 D=8	2
ヒンジワッシャー	2
取付説明書	1
取付説明書 (片錠受け裏板埋込寸法表)	1

## 1. 施工寸法図

両開き

片開き

鋳物門扉両開き・片開き  
(ラッチ錠・片面模様+アーム錠  
オールドアイアン錠)の場合

アンカー詳細図

鋳物門扉片開き  
(両面模様+アーム錠)の場合

型材門扉の場合

※( )寸法はH-14サイズ以上を示します。  
 < > 内寸法はアーキキャスト門扉ポーチ取付仕様を示します。  
 < > 内寸法はアーキカット門扉を示します。  
 【 】内寸法はプレミアズ門扉を示します。  
 「 」内寸法はラフィーネ型門扉W04H10を示します。  
 [ ] 内寸法はラフィーネ型門扉W04H12を示します。

②特殊サイズ門扉の施工寸法

門扉種類	門扉サイズ	H	h1
コラゾン	H-10	1000	600
1~7型	H-12	1200	800
ラフィーネ	H-10	888~1000	600~700
	H-12	1088~1200	800~900

※上記表中以外の門扉は、一般サイズ門扉の施工寸法にて施工してください。

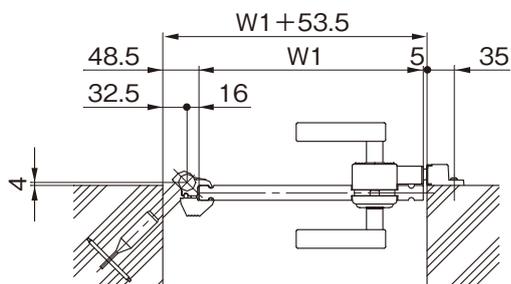
①一般サイズ門扉の施工寸法  
 h1寸法=門扉呼称H-200mm  
 ※「門扉呼称H」は、下記の例に示すように読み替えてください。  
 (例)門扉呼称H: H12 → 1200mm

<注意>

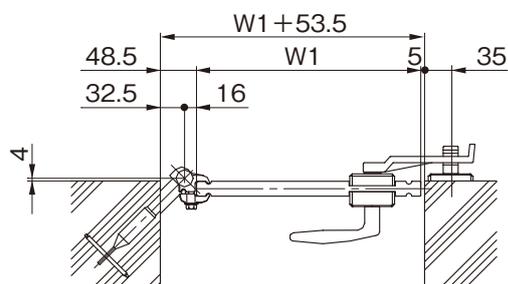
- 図中のHは門扉高さ寸法を示します。
- 使用不可門扉  
高級アルミ鋳物門扉

## 2. 門扉納まり寸法図

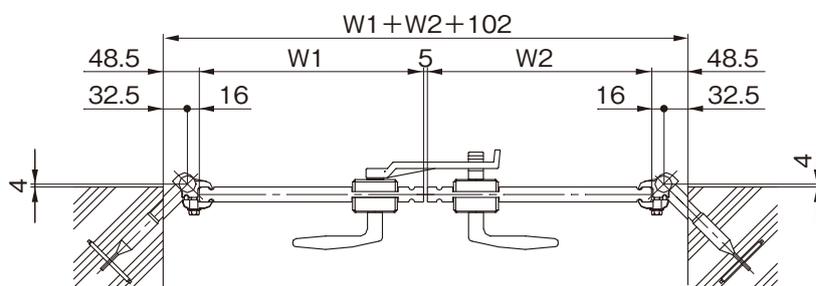
2-1 鋳物門扉片開き（ラッチ錠の場合）



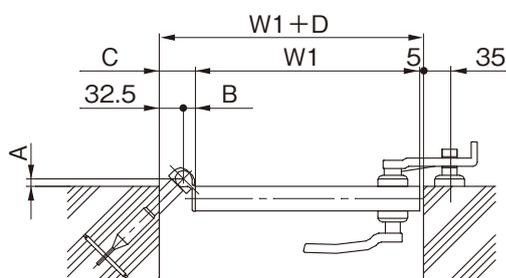
2-2 鋳物門扉片開き（アーム錠）



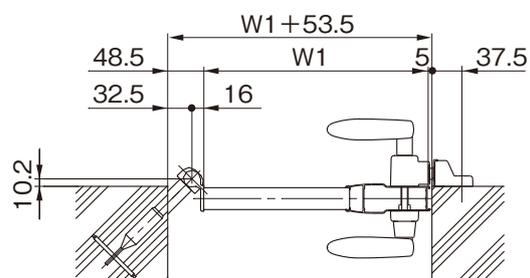
2-3 鋳物門扉両開き



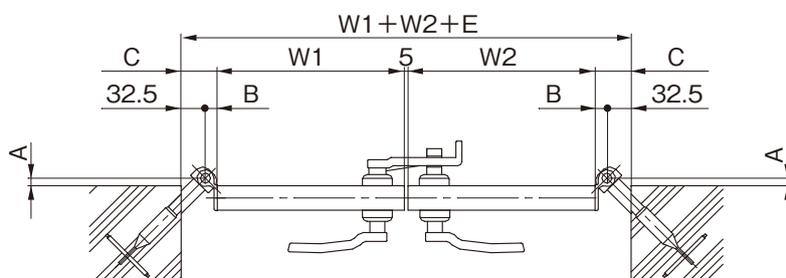
2-4a 形材門扉片開き



2-4b 形材門扉片開き（面付ラッチ錠）

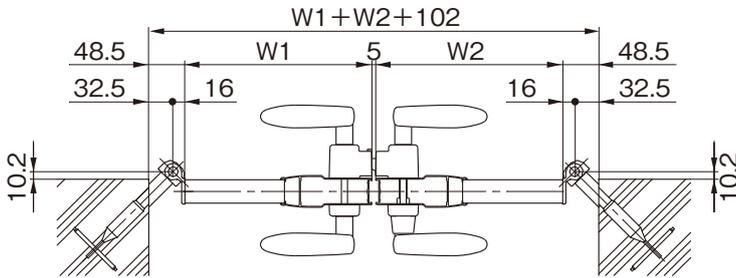


2-5a 形材門扉両開き

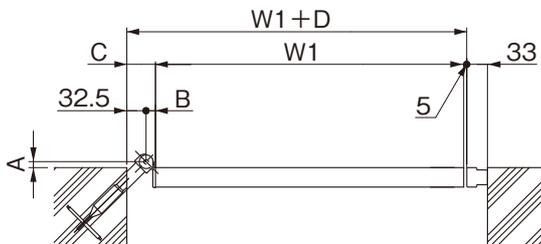


商品名	A	B	C	D	E
ハイ千峰	10.2	13	45.5	50.5	96
アメリカン	10.2	15.8	48.3	53.5	101.6
プレミエス門扉	14	16	48.5	53.5	102
上記以外のアルミ形材門扉	14	16	48.5	53.5	102

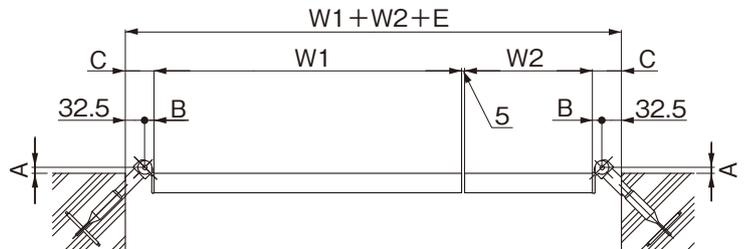
### 2-5b 型材門扉両開き（面付ラッチ錠）



### 2-6a プレミエス門扉片開き

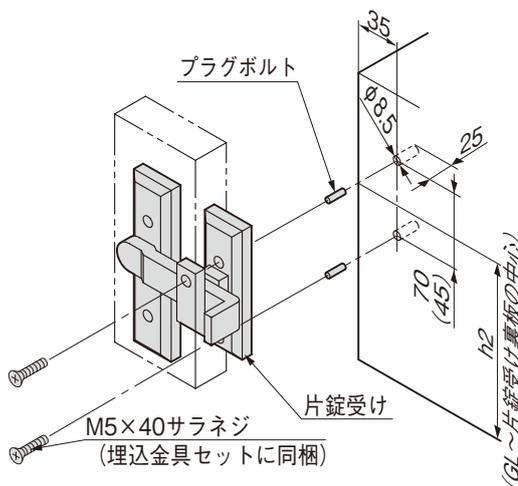


### 2-6b プレミエス門扉両開き



## 3. 片錠受けの取付け

### 3-1 躯体にプラグボルトが打てる場合



- ① 門扉を吊り、片錠受けの位置を合わせて孔をガイドにして、 $\phi 8.5$ の孔を25mmの深さまであけてください。
- ② プラグボルトを挿入し、M5×40サラネジ D=10で片錠受けを取付けてください。

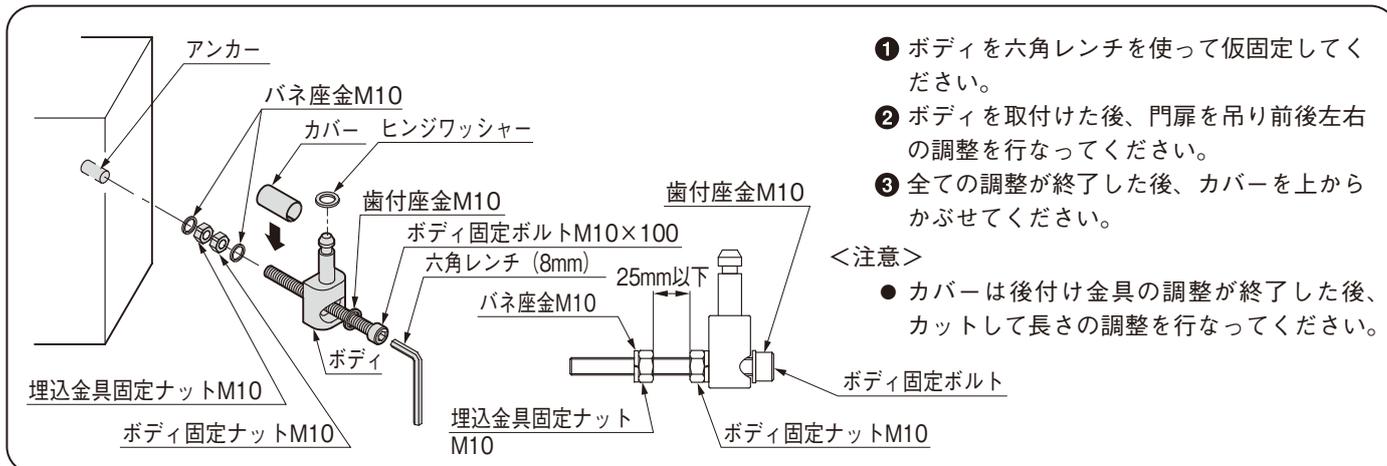
#### <注意>

- 片錠受け取付ネジは、埋込金具セットに入っているM5×40サラネジを使用してください。
- ( ) 寸法は鋳物アームRF錠を示します。
- 鋳物アームRF錠の場合は、M5×40サラネジ D=8で片錠受けを取り付けてください。

### 3-2 躯体にプラグボルトが打てない場合

- ① 片錠受け裏板埋込寸法表 (A340) を参照して取付けてください。

## 4. 埋込金具の施工



- ① ボディを六角レンチを使って仮固定してください。
- ② ボディを取付けた後、門扉を吊り前後左右の調整を行なってください。
- ③ 全ての調整が終了した後、カバーを上からかぶせてください。

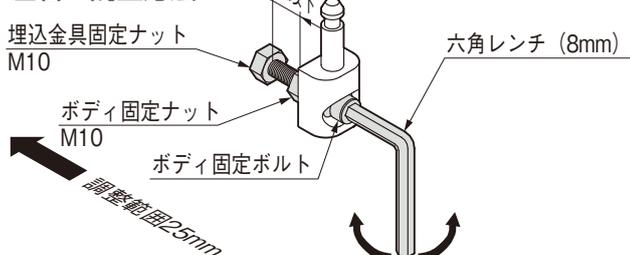
<注意>

- カバーは後付け金具の調整が終了した後、カットして長さの調整を行なってください。

## 5. 埋込金具の固定方法および調整方法

### 5-1 埋込金具の調整方法

#### 左右の調整方法

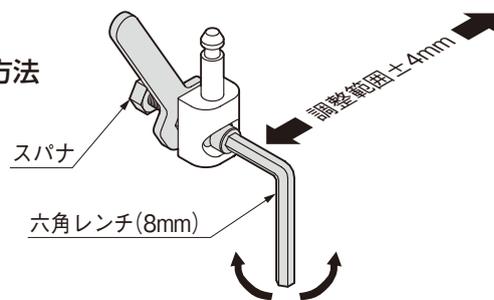


- ① 埋込金具固定ナット、ボディ固定ナットをゆるめた後、ボディ固定ボルトを回転させて調整してください。

<注意>

- 埋込金具固定ナットとボディ固定ナットの間は25mm以上あけないでください。

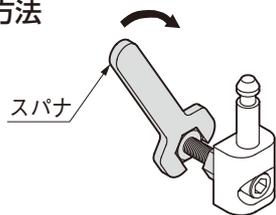
#### 前後の調整方法



- ① ボディ固定ナットをゆるめてボディを前後に動かして調整した後、5-2 の要領で締め込んでください。

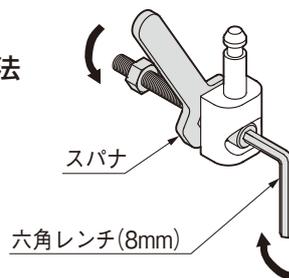
### 5-2 埋込金具の固定方法

#### 壁への固定方法



- ① スパナを右方向(時計回り)に回転させて締め込んでください。

#### ボディの固定方法



- ① 六角レンチを右方向(時計回り)に回転させ、スパナを左方向(反時計回り)に回して締め込んでください。

## 工事店様へ

- 仕上げ後、本体に付いているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化前後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。

- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

**A288**

KAW572679K  
200209A\_1006  
202304K\_1049